

2019 年度

7月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園



年長のお泊り保育が終わりました。21 人全員が参加できました。お泊り保育の話が出始めてから当日朝までは、不安な気持ちの子もいたことと思います。前日にも「明日お泊り行かないからね」と言っていた子もいました。でも実際、スタートすると…「まだ帰りたくなーい!」と言うくらい川遊びを満喫。ドラム缶風呂、草木染め、カレー作り、夜のホタル観賞も楽しみ、全員が朝までぐっすり眠っていました。自然の中で水や風、虫や草木に触れて、たくさんの「初めて」を体験した子どもたち。翌朝は自信に満ちたいい顔でお家の人と再会。きっとたくさんお話を聞いてもらったことでしょう。大きな怪我もなく無事に過ごせたこと、たくさんの自信をつけたこと、神さまに感謝いたします。

「一緒にね…」

乳幼児期は人格形成の基礎が培われると言われています。この大切な時期に、どう子どもに関わればよいのでしょうか。一言でいえば「一緒に楽しい生活」を重ねることだと言われた方がいます。本当にその通りだなと思います。生まれてきて「お父さんやお母さんと一緒に楽しい」と感じ、愛される経験をして保育園に入園し、保育園でも「先生と一緒に楽しい」「お友だちと一緒に楽しい」経験をして「人と共に生きることが楽しい」と思う心が育ちます。一緒に楽しい生活の中で子どもたちは、人を憎むことなく信じることを経験します。

「光の中にいると言いながら兄弟を憎む者は、今もなお闇の中にいます。兄弟を愛する者は、いつも光の中におり、その人にはつまづきはありません。」(ヨハネⅠ 2章8節～10節)

また「一緒に…」という言葉は「子どもを育む関わり言葉」ともいわれ、子どもたちに人への関心を持たせ、社会性を育ませます。「一緒に遊ぼう」「一緒に歩こうね」…。言葉だけでなく「一緒に…」という経験をたくさんすることも乳幼児期には大切です。「ご飯を食べる」「お風呂に入る」「寝る」…幼児になるとだんだん一人でもできるようになります。でもどうぞ「一緒に…」の体験をたくさん積み重ねてください。お家でも、保育園でもたくさんの「一緒に楽しい」時間をたくさん過ごしてほしいと思います。



たくさんの「一緒に…」を過ごしたお泊り保育

